

2020. 5. 1 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位
大阪科学・大学記者クラブ加盟社 各位
文部科学記者会加盟社 各位

立命館大学広報課

立命館創始 150 年・学園創立 120 周年記念シンポジウム
「自由に生きるための知性とはなにか？」オンライン開催
2020 年 5 月 24 日（日）14：00 よりストリーミング配信（事前予約制）

2020 年は、学校法人立命館にとって、「立命館創始 150 年・学園創立 120 年※」という節目の年にあたります。これを記念し、立命館大学教養教育センターは、「自由に生きるための知性とはなにか？」をテーマに、シンポジウムを開催します。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本シンポジウムはオンライン上での開催となります。

目まぐるしく変化を遂げる時代にあつて、これまで信じてきた価値—たとえば、科学技術、経済成長、民主主義—がゆらいでいる今、わたしたちはどう生きるべきか。この時代・社会を自由に生きるために、どのような知性が必要なのか。本シンポジウムでは、いま幅広い世代から注目されているリベラルアーツに焦点をあて、東京大学先端科学技術研究センターの熊谷晋一郎准教授（医師・当事者研究）の基調講演をはじめ、東京工業大学の上田紀行教授（文化人類学者・リベラルアーツ研究教育院長）、名古屋大学大学院経済学研究科の隠岐さや香教授（科学史・科学技術論）、立命館大学グローバル教養学部の山下範久教授（歴史社会学・社会理論）の教育実践に関する話題提供、そして全登壇者によるパネルディスカッションを展開します。

シンポジウムは、無料で視聴いただけます。多くの方のご関心、ご参加をお待ちしています。

※新しい時代を担う若者を育てるため、西園寺公望が私塾「立命館」を創始して 150 年、中川小十郎が、西園寺公望の意志を引き継ぎ、立命館大学の前身となる「私立京都法政学校」を創立して 120 周年の年です。

記

■立命館創始 150 年・学園創立 120 周年記念シンポジウム

日時 : 2020 年 5 月 24 日（日）14:00～17:30 ※後日アーカイブ配信も予定しています。
開催方法 : インターネットによるストリーミング配信 ※インターネット通信環境が必要です。
内容 : 別紙参照
定員 : 500 名
参加費 : 無料、事前予約制
申込方法 : 以下の URL からお申し込みください。【申込締切 5 月 20 日】

<https://business.form-mailer.jp/fms/150a1b15119012>

■立命館大学×丸善ジュンク堂書店「わたしをアップグレードする“教養知”発見フェア」

丸善ジュンク堂書店とのコラボレーション企画として、本シンポジウム登壇者の著書および選書等 50 冊を店頭でご紹介（渋谷店 5/7～6/30／大阪・難波店 5/11～6/30）。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和 TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumeikan.ac.jp/>

別紙

■立命館創始 150 年・学園創立 120 周年記念シンポジウム「自由に生きるための知性とはなにか？」

2020 年 5 月 24 日(日)

14:00～14:05 開会挨拶 仲谷善雄(立命館大学長)

14:05～15:00 基調講演

「わたしを発見する知:リベラルアーツと当事者研究」

熊谷晋一郎(医師・当事者研究/東京大学先端科学技術研究センター准教授)

15:00～17:25 パネルディスカッション (登壇者によるスピーチの後、ディスカッションに入ります)

【スピーチ 1】「東工大リベラルアーツの挑戦」

上田紀行(文化人類学者/東京工業大学教授 リベラルアーツ研究教育院長)

【スピーチ 2】「文系と理系の歴史から考える、リベラル・アーツのこれから」

隠岐さや香(科学史・科学技術論/名古屋大学大学院経済学研究科教授)

【スピーチ 3】「アジア発、“未来の共通言語”となる知とは」

山下範久(歴史社会学・社会理論/立命館大学グローバル教養学部教授)

熊谷晋一郎(医師・当事者研究/東京大学先端科学技術研究センター准教授)

モデレーター 松原洋子(立命館大学副学長)

17:30 閉会予定

シンポジウム登壇者(敬称略)

熊谷 晋一郎(くまがや・しんいちろう)

東京大学先端科学技術研究センター准教授、小児科医。脳性マヒの電動車いすユーザー。専門は小児科学、当事者研究。著書に『リハビリの夜』(医学書院)、『みんなの当事者研究』(編著、金剛出版)、『当事者研究と専門知』(編著、金剛出版)、『当事者研究をはじめよう』(編著、金剛出版)など。

上田 紀行(うえだ・のりゆき)

東京工業大学教授・同リベラルアーツ研究教育院長。専門は文化人類学。特に宗教、癒し、社会変革に関する比較価値研究。著書に『生きる意味』(岩波新書)、『かけがえのない人間』(講談社現代新書)、『愛する意味』(光文社新書)など。

隠岐 さや香(おき・さやか)

名古屋大学大学院経済学研究科教授。専門は科学史、科学技術論。著書に『文系と理系はなぜ分かれたのか』(星海社新書)、『科学アカデミーと「有用な科学」ーフォントネルの夢からコンドルセのユートピアへ』(名古屋大学出版会・第 33 回サントリー学芸賞受賞)など。

山下 範久(やました・のりひさ)

立命館大学グローバル教養学部教授。専門は歴史社会学・社会理論。著書に『教養としての世界史の学び方』(編著、東洋経済新報社)、『現代帝国論』(日本放送出版協会)、訳書に『知の不確実性』(イマニュエル・ウォーラーステイン著、山下範久監訳、藤原書店)など。